

# 須崎市議会だより

高知県須崎市議会  
第213号  
3月定例会

## CONTENTS

- 2～4 審議結果一覧表、請願と陳情等、人事案件
- 5～12 一般質問（8人）
- 13 常任委員会管内視察
- 14 議会の活動、編集後記等

議会を傍聴しませんか？

議会日程など詳しい事は、  
議会事務局まで  
お問い合わせください。

次回定例会は、  
6月開会  
予定です。

**TEL 42-8791**



# 審議結果一覧表



## 第487回 須崎市議会1月臨時会(1月10日)

市長提出議案 8議案(条例1件、予算4件、その他3件)、慎重審議の結果、可決8となりました。

全会一致のもの

### 市長提出議案

可決	市議案第1号	須崎市一般職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について
可決	市議案第2号	令和6年度須崎市一般会計補正予算(第9号)について
可決	市議案第3号	令和6年度須崎市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)について
可決	市議案第4号	令和6年度須崎市介護保険特別会計補正予算(第3号)について
可決	市議案第5号	令和6年度須崎市水道事業会計補正予算(第2号)について
可決	市議案第6号	工事請負契約の締結について
可決	市議案第7号	工事請負契約の締結について
可決	市議案第8号	工事請負契約の締結について

## 第488回 須崎市議会3月定例会(3月5日～3月19日)

市長提出議案 46議案(条例23件、専決2件、予算12件、その他9件)、陳情1件、慎重審議の結果、可決42、承認2、認定1、同意1、不採択1となりました。

全会一致のもの

### 市長提出議案

可決	市議案第9号	須崎市一般職の職員の旅費に関する条例の制定について
可決	市議案第10号	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例について
可決	市議案第11号	須崎市一般職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について
可決	市議案第12号	須崎市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例について
可決	市議案第13号	須崎市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例について
可決	市議案第14号	須崎市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について
可決	市議案第15号	須崎市特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償支給条例の一部を改正する条例について
可決	市議案第16号	須崎市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例について

## 審議結果一覧表

可決	市議案第17号	須崎市長等の給料及びその他の給与並びに旅費支給条例の一部を改正する条例について
可決	市議案第18号	須崎市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について
可決	市議案第19号	須崎市国民健康保険事業財政調整基金条例の一部を改正する条例について
可決	市議案第20号	須崎市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について
可決	市議案第21号	須崎市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について
可決	市議案第22号	須崎市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について
可決	市議案第23号	須崎市総合計画審議会条例の一部を改正する条例について
可決	市議案第24号	須崎市市営住宅の設置及び管理条例の一部を改正する条例について
可決	市議案第25号	須崎市企業等誘致促進条例の一部を改正する条例について
可決	市議案第26号	須崎市布設工事監督者及び水道技術管理者の資格等に関する条例の一部を改正する条例について
可決	市議案第27号	須崎市移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について
可決	市議案第28号	須崎市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例について
承認	市議案第30号	専決処分の承認について
承認	市議案第31号	専決処分の承認について
可決	市議案第33号	令和7年度須崎市巡航船事業特別会計予算について
可決	市議案第34号	令和7年度須崎市バス事業特別会計予算について
可決	市議案第35号	令和7年度須崎市スクールバス特別会計予算について
可決	市議案第36号	令和7年度須崎市国民健康保険特別会計予算について
可決	市議案第37号	令和7年度須崎市後期高齢者医療特別会計予算について
可決	市議案第38号	令和7年度須崎市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算について
可決	市議案第39号	令和7年度須崎市介護保険特別会計予算について
可決	市議案第40号	令和7年度須崎市水道事業会計予算について
可決	市議案第41号	令和7年度須崎市下水道事業会計予算について
可決	市議案第43号	令和6年度須崎市下水道事業会計補正予算(第4号)について
可決	市議案第44号	工事請負契約の変更について
認定	市議案第45号	市道路線の認定について
可決	市議案第46号	指定管理者の指定について
可決	市議案第47号	指定管理者の指定について

審議結果一覧表

可決	市議案第48号	指定管理者の指定について
可決	市議案第49号	指定管理者の指定について
同意	市議案第50号	教育委員会委員の任命について
可決	市議案第51号	須崎市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例について
可決	市議案第53号	区域内の公共的団体等の活動の総合調整について
可決	市議案第54号	須崎市国際交流員及び外国語指導助手設置条例の一部を改正する条例について

人事案件

以下の方を任命することに同意しました。  
**教育委員会委員 尾崎 恵子(原町)**



起立採決したもの

市長提出議案

議決結果	番号	件名	西村 泰一	大崎 宏明	宮田 志野	杉山 愛子	吉野 寛招	松田 健	佐々木 學	山本 啓介	森田 收三	海地 雅弘	森光 一晴	高橋 立一	高橋 祐平	土居 信一
可決	市議案第29号	須崎市在宅介護手当支給条例を廃止する条例について	●	●	×	×	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
可決	市議案第32号	令和7年度須崎市一般会計予算について	●	●	×	×	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
可決	市議案第42号	令和6年度須崎市一般会計補正予算(第11号)について	●	●	×	×	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
可決	市議案第52号	須崎市総合計画の基本構想の策定について	●	●	×	×	●	●	●	●	●	●	●	●	●	

陳情

不採択	陳情第15号 学校の業務量に見合った教職員配置、長時間労働を抑制するため教員に残業代を支給可能とする給特法の改正、新たな職の創設に対して慎重審議を求める陳情	×	×	●	●	×	×	×	×	×	●	×	×	×	×	
-----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	--

●…賛成 ×…反対 □…議長

# 一般質問

3月11日(火)



## デジタル振興券 ジモッペイについて

**問** デジタル振興券ジモッペイの紙バージョンの発送は完了したか。私はスマホを所持しているが、所持していない方もいることから、紙バージョンの3,000円を選択させてもらった。ジモッペイの紙バージョンの対象は、最終的に何%だったのか。元気創造課長に聞く。

### 山岡元気創造課長

**答** 紙バージョンの振興券の発送については完了しており、2月15日から利用できるようになっていた。該当

者でまだ受け取りができていない方については、元気創造課に返ってきており、問い合わせをしてほしい。  
なお、紙バージョンの振興券の対象者については、4,112人で21.1%となっている。

## 南海トラフ地震・津波関連等について

**問** 地震の揺れから身を守る対策とガラスの飛散防止、家具転倒防止対策など、防災課ではいろいろな方法で周知を行っているが、市民に十分情報が伝わっていないのではないか。ホームページや広報誌による周知も有効だが、ほかにも桃太郎旗の地域への設置など、地震、津波に関するさらなる啓発を行うてはどうか。防災課長に聞く。

### 濱崎防災課長

**答** 耐震工事や家具転倒防止対策、窓ガラスの飛散防止の重要性の啓発については、ホームページや広報による周知とあわせて、防災学習や各地域での訓練で周知を図っている。今回ご提案の桃太郎旗の活用も含め、効果的な啓発方法について検討する。

### 問

津波から逃げるための対策について、建設予定の図書館等複合施設には多くの利用者が集まること想定される。地震、津波避難対策について、市民からさまざまな意見や要望が上がっているが、障害者や高齢者の逃げ遅れ対策として

策として津波救命艇を設置する考えはあるか。防災課長に聞く。

### 濱崎防災課長

**答** 津波救命艇は、東日本大震災を契機に、大地震による津波から身を守るための対策の一つとして国土交通省により津波救命艇ガイドラインが定められている。その認定を受けた定員25人乗りのものから、国際的な基準に基づいた小型のものまで、数種類あり、大きなものでもマイクロバス1台分程度あれば設置できると聞いている。  
この救命艇は船ごと浮いて逃げるようになるため、津波の高さにかかわらず、避難を可能とするもので、最後の逃げ遅れ対策の選択肢としては、非常に有効であると考えている。

また、本体価格も50人乗りで1,400万円程度、8人乗りで250万円程度と低コストで効果が高く、費用対効果がよいものと考えている。このことから、引き続き逃げ遅れ対策の重要な選択肢の一つとして情報収集と研究を行うてまいりたい。

### 問

民間企業などを避難所として利用するにあたっては、開設のタイミングや夜間、休日の開設方法、連絡体制、施設管理者等の理解や合意、協力協定の内容や、また、不特定多数の人が利用するため、セキュリティの問題などがある。避難所になっている企業との検証、点検などはできているのか。防災課長に聞く。

### 濱崎防災課長

**答** 本市において現在、民間施設を指定避難所としていたりところは2施設であり、その両方の施設所有者のEM・セテック株式会社と平成26年に協定を結び、その指定を行っている。  
また、EM・セテック株式会社から避難所として使用することに対して、ご理解とご協力をいただいております。運用面等についても、必要に応じて随時協議しながらの見直しと継続した検証、点検も行っていくたいと考えている。

## 健康維持増進対策について

**問** 昨年9月議会会で、市民が津野町の里楽を利用した場合の費用の助成を要望したが、検討することだった。里楽の利用者は津野町民以外でも年間1万人いることから、この現実を踏まえて検討されたか。現在の状況を健康推進課長に聞く。

### 中川健康推進課長

**答** 予算化に向けて検討するため、昨年11月に協議を申し入れたが、担当者から、対象施設の里楽は、令和7年度中に大規模改修工事を計画しており、改修後に改めて協議をお願いしたいとの回答だったため、令和7年度の助成に向けた協議、予算化を見送っている。

### その他

市宮路線バス等の避難訓練について、環境美化対策について



須崎市総合計画について

市内には舗装が劣化した道路や老朽化の激しい橋が見受けられる。市民からは、改善の要望が再三出されているが、この須崎市総合計画の中にはそれらの「維持管理は補修を計画的に行う」とあるが、計画が市民の要求とは隔たりがあるのではないかと考えるが問う。

楠瀬市長

道路の舗装、改良に要する主要予算として、市単道路整備事業費を充てている。本年度は前年度予算から倍増以上の1億7,420万円に増額して整備を行った。

また、令和7年度予算についても、1億8,890万円に増額しており、地域の皆様からの要望箇所等も取り入れ、市内全ての市道路線の路面調査を実施し、間もなく策定する市道舗装長寿命化計画に基づき、早期措置が必要な箇所から整備を行う。

農業政策について

国の新年度当初予算案は、防衛費8兆7,000億円と大きな予算が組まれている一方、農業予算は2兆2,700億円と20億円の微増にすぎず、政府が本気で農業政策に取り組む姿勢が見えない。農業を持続可能にするために、販売価格が生産コストを下回った場合に差額を補てんする価格保障によって、再生産が可能な収益を確保し、さらに環境維持や景観保全などの名目で農家に直接的に支払う補助金、いわゆる所得補償を上乗せしてほかの産業と同等の所得を維持する、これが価格保障、所得補償だが、これをする時期にきているのではないかと。制度の創設を国に求めたい。

楠瀬市長

農業を持続可能とするためには、農作物の価格保障や農業者の所得補償も考えられるが、その財源は全て国民が負担する税金である。従って、昨年の6月定例会において、食料支援制度の創設の質問でも答弁したとおり、我が国の農業を維持していくための国民の適切な負担について、まずは議論していくことが必要ではないかと考えている。

問

米を作ってもお金にならない。耕放棄地が増えていったのは、こうしたことが原因だ。機械を買い換えようにも田植機や稲刈り機だけでも何百万円もかかり、とにかく農機具が高くて困っている。

そこで、農業機械の購入補助制度を創設してもらいたい。

嶋崎農林水産課長

まず、国の補助制度は、集落営農組織が補助対象であるため、個人農家への補助金はない。市単独で補助事業を創設するためには、農業機械が非常に高額であることから、財源などが課題となるため、現状では困難であると考える。しかし、古くなった機械を新しく買い換えることができないといった声もあり、このことが原因となり、市内における耕作放棄地の増加につながってくるものと推測される。そこで、昨年の11月末に発足したJA土佐くろしおと須崎市、中土佐町、津野町、高知県須崎農業振興センターなどを構成メンバーとするJA土佐くろしお水田維持管理対策研究会の中で、現在、水田の耕作放棄を防ぐための仕組みづくりを研究している。その研究テーマの一つとして、個人農家への農作業機械のレンタルを取り上げてみたいと考えている。

支障木伐採補助金

隣の敷地にある木が伸びてきて困っている、農地や住宅に日光が当たらなくなったなど、支障木の問題が起きています。以前質問したが、支障木伐採の補助制度についての検討はされたのか、今後の取り組みについて問う。

嶋崎農林水産課長

支障木伐採の補助制度は、令和7年度からの新規事業として、

今議会、当初予算に計上をしている。事業内容は、まだ詳細が確定できていないが、市内で現況山林とみなせる場所に存在し、住宅や私道、集会所に直接損害を与えるおそれのある危険木の伐採を実施する経費に対して、予算の範囲内で補助金を交付するとしている。補助額は補助対象経費の2分の1以内の金額で、上限は30万円である。また、補助の対象者は危険木を所有する者、危険木の倒木により被害を受けるおそれのある住宅または私道の所有者、地区会長等である。本年4月以降、補助要綱が策定された後に、広報などで周知していく。

猫対策

猫の避妊去勢手術への補助金は市から1匹につき5,000円、一家庭当たり2匹までという条件となっている。この件数または金額の拡充を求める。

宮本環境未来課長

対象猫1頭について上限5,000円の設定については、雄と雌で実際に手術にかかる費用が違うことや、また、手術費用の高騰など、そういった点も含めて今後検討していく。

その他

タクシーチケット・公共交通、給食への地元産米提供を、自衛隊への適格者名簿提出など



佐々木 學 議員

### 南海トラフ巨大地震対策 事前復興まちづくり計画

**問** 須崎市総合計画案では、高台まちづくりを掲げ、事前復興まちづくりや人口減少対策の観点から高台整備事業を位置付けているが、市長の思いを聞く。

#### 楠瀬市長

**答** 発災後対策の国の財源は、復興特別税や復興税で実施できるが、事前対策に回す国の財政的な裏付けが全くない。

国土交通省の防災集団移転事業は、事前対策としてなかなか難しい制度であり、財源的にハードルが高いので、何とかハードルを下げて事前対策が出来ないか、黒潮町と須崎市がモデルとなって国との協議を進めている。

本市としてこの状況を変えていくために様々な取り組みを行っているところであり、市議会の皆様にも応援してもらい、事前に十分な対策を実施できるように道を開くため、国に対してお願いしていきたい。

#### 問

高知県は、令和9年度に県内対象自治体の事前復興まちづくり計画を取りまとめると表明した。同計画策定指針の仕組みや内容並びに、本市における同計画策定立案にどう取り組むか内容やスケジュールについて、市長の所見を聞く。

#### 楠瀬市長

**答** 高知県の事前復興まちづくり計画の考え方は、①命を守る、②生活を再建する、③なりわいを再生する、④歴史文化を継承する、⑤地域の課題等の解決につなげるの5点が基本方針である。

東日本大震災の教訓は、復興に時間を要すると住民や企業は疲弊し、地域の活力の喪失、存続が危うくなること等を参考にし、基本的津波対策、復興、パターン、土地利用の考え方を示している。

本市においては、同指針を基本に復興に関する事前準備として、現状整理と課題分析を行い、復興方針と復興組織、業務手順書、対象区域の選定を行政内部で協議、検討し、事前復興まちづくり計画案のたたき台の作成へと進む。その後、地域住民の方々はこの計画案の説明をしていきながら合意形成を図る。

スケジュール感は、着手から最低3年は必要であり、それと並行して国に対する様々な要請、要望も進めていきたい。

#### 問

市内8地域の緊急避難場所への市民の安全な避難行動、指定避難所における生活用水やトイレの確保や低体温症などの課題を明確にして、本市が重点的に取り組む令和7年度の対策について防災課長の所見を聞く。

#### 濱崎防災課長

**答** 本年度の防災まちづくり対策は、まず発災時の避難は住宅の耐震化や家具の固定化による住宅から外へ出られる対策。

外へ出た場合のブロック塀や家屋の倒壊による避難路の閉鎖を予防する対策。

また、夜間の避難は、明かりが重要であるため避難路への照明設置対策等、今後とも地域の自主防災組織と連携し事前対策の事業を進め、確実な避難につなげるための、各種の補助制度の啓発を進める。緊急避難場所での対策は、実際に冬の夜間滞在の経験により、防寒対策や天候対策などが重要であり、今後そのための備蓄品の整備を進めていく。

### 本市浦ノ内ジビエ事業 生き残り健全経営の確立

#### 問

本市のジビエ事業はコロナ感染時の危機を克服して経営の安定化に向かう中、昨年から豚熱の感染拡大で、生産体制としての保健所とのシステム立案や担い手の確保、捕獲した新鮮なイノシシの個体の確保など大変な危機に直面している。

本市浦ノ内のジビエ事業における豚熱対策は、本県では初めての対策であり現場や県出先の対策だけでは間に合わない。市長が率先して知事や国への支援強化に取り組んでもらいたい。市長の所見を聞く。

#### 楠瀬市長

**答** ジビエ事業については、これまで豚熱感染区域のイノシシは加工、

販売ができないとのことであったが、食品衛生管理において、一定条件の下で加工、販売が可能であることが判明した。現在、ジビエ浦ノ内は須崎福祉保健所から当該条件をクリアするための指導を受けている。

まずは、要望内容の詳細等をジビエ浦ノ内に聞いたうえで考える。

### 住民自治と協働のまちづくり 自主組織化の強化を

#### 問

今後の取り組みを更に進めるうえで、住民の声をいかに反映し、本市の適正効果的な行政運営を進めていくか大きな課題だ。市内8地区の未組織化の特に須崎地区と多ノ郷地区の自主組織化、並びに組織化した地区の更なる活発な運営に当たって、他自治体の事例研究や、市長部局としての更に本格的な取り組みが必要と思うが市長の所見を聞く。

#### 楠瀬市長

**答** 人口規模の大きい地区は分割しての組織化など、あらゆる方法を模索しながら、今後も継続して取り組みを進めていく。

また、地域の拠点として公民館との連携は必須であることから、教育委員会部局が事業を進めることとし、先進地の事例研究も行い、未整備地区の組織化を進める。

#### その他

巡航船、ヤングケアラー支援について



### 逃げ遅れのための避難施設について

**問** 今回私は自宅から指定避難場所の城山まで、避難を想定して歩いてみた。麓まではすんなりたどり着くことができたが、そこから、港の見える広場までは、何度か休みながら、膝が笑うのをこらえながらたどり着くのが精いっぱいだった。私より年齢が上の高齢者の方が果たしてたどり着くことができるのか考えたときに、到底無理だというのが実感であった。

城山避難場所への避難困難者の逃げ遅れ対策として、避難タワーの建設に向けてかじを切っていただけないか。

### 楠瀬市長

**答** 津波避難タワーは高さ制限があり、それ以上の津波が来た場合、逃げる場所がない。幸い本市は市街地の近くに山や小高い場所があり、想定外の津波が来ても、その上へ逃げられる。そこを緊急避難場所にしようという大前提で

ここまで来ている。その上で、避難で大事になる自主防災組織、コロナ以降各地の活動が停滞しており、ハード設備以上にソフト面がないと逃げ遅れ対策が進まない。ここをしっかりと整備して、皆様と話し合いをし、ハード対策を決めていくことが重要であると考えている。

### 自主防災組織の立て直しについて

**問** 自主防災組織は、避難訓練や地域住民同士、地域と行政をつなぐ重要な機関であり、自助、共助の要とも言える。そのためにも、自主防災組織の立て直しは急務ではないか。

自主防災組織の立て直しの進捗状況について、具体的にどのような問題点があるのか、どうして進んでいないのか。

### 濱崎防災課長

**答** 現在の進捗状況は、地区防災組織へのアンケート調査とその分析までしか行っていない。今後は、その課題を深掘りし、引き続きヒアリングを行っていく予定としており、それを分析の上、最小単位の組織である各地区の自主防災組織の現状把握の調査等を行いたい。

問題点や課題としては、防災組織の土台である町内会や集落組織の活動の低下が大きな問題である。また、役員の高齢化や後継者の担い手がいない現状、あるいは女性の参画の少なさも課題であると考えており、各課題に対して分析し、その対策について専門家等の意見を聞き、解決に向けて取り組んでいきたい。

### 城山避難場所について

**問** 市民から城山避難場所を公園化して欲しいという要望が出ている。行政と市民で協力して、現在の公園部分も含めた避難場所、市民が親しめる公園にすれば、より一層の方が訪れる場所になり、親しんでもらえて、避難訓練につながるのではないかと思うが、これについて聞く。

### 楠瀬市長

**答** 緊急避難場所について、場所を知らない、知っているが行ったことがないという市民のために、避難場所に来てもらい、楽しんでもらうことを目的の一つとして、去年の12月に城山避難道から港の見える広場、南古市町津波避難施設をライトアップするイベントとあわせて夜間避難訓練を開催した。この訓練で1000人を超える方々に参加をいただき、その中には、初めて避難場所を訪れたという方も多くいた。

議員ご提案のとおり、避難場所をふだん使いの場所、楽しめる場にする事ができれば、避難訓練につながっていくと思われるので、どんな方法が効果的か、皆様のご意見を伺ってまいりたい。

### 避難経路の道しるべプロジェクト

**問** 本市は、海のまちプロジェクトを推進しており、観光客やノマドの誘致を推し進めている。また、須崎で就

労活動のために長期滞在している、いわゆる関係人口といった人々も増加している。観光客に分かりやすい避難場所への避難経路の表示が必要ではないか。

また、原則須崎市民、須崎にある事業所への貸与となっている防災ラジオを、須崎に住所はないが、さまざまな理由で須崎にある持家に長期間滞在するといった方々への貸与など、どのようになっているのか。

### 濱崎防災課長

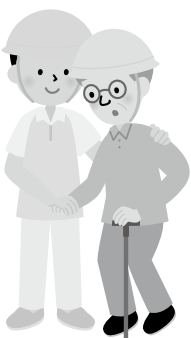
**答** 戸別受信機の貸与については、3パターン考えられる。1つ目は、市内に居住する世帯、2つ目に市内に事務所、または事業所を所有する法人、または個人の方、3つ目として市長が防災上必要と認める施設の所有者を対象に行っている。

旅行等で長期滞在する方については、状況を聞き、個別に判断していきたい。

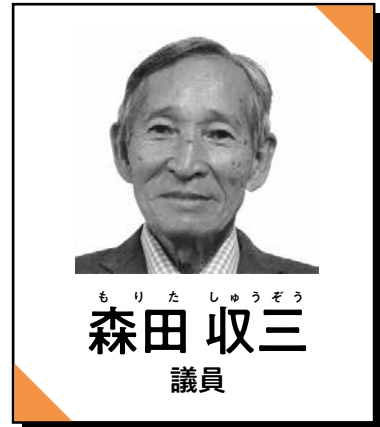
次に、市内に居住する外国人の方は、住民基本台帳上では約5000人を超えており、言語や文化の違いから対応が必要であるが、実際の防災訓練への参加呼びかけは、広報紙やホームページ、防災行政無線のみで個別対応はできていない。

### その他

自助、公助の意識の向上についてなど







もり たけまさ  
森田 収三  
議員

### 防災・減災について

**問** 2011年3月11日午後2時46分東日本大震災は起きた。今日3月11日、この日、この時間に防災についての質問をすることに大きな意義を感じている。

昨年6月の城山避難場所に続き今回桐間地区の量販店周辺から、その地域の指定避難場所である妙見山交流会館まで歩いた。往路はマルナカ裏の道路から県道23号線に出て妙見山交流会館に向かい13分、復路は元56号線方面に下り多ノ郷駅経由で16分を要した。桐間地区から避難場所へ津波到達までに避難可能と考えているのか。建設予定のスケートパークから避難場所までの避難時間をどの程度で想定しているか。

### 楠瀬市長

**答** 避難は可能と考えている。避難の確実性を高めていくよう取り組んでいく。

また、スケートパーク建設予定地から避難場所までの距離は約900メートルであり、15分から20分と想定している。

### 問

量販店、遊興施設、老人ホーム、建設中のビジネスホテル、スケートパークなどの昼間の人口が多い桐間地区では昼間人口は最大何人と想定しているか。避難をどのように考えているか。15分、20分で津波到達という答弁であったが、人数、また避難をどのように行うのか。

### 楠瀬市長

### 答

土地勘のない方もおり避難誘導、車を使って逃げたくなるなどに対して、あの辺りの津波避難協議会の中で整理をしていくことだが、まだ十分出上がっていない。行政主導でやっているかんといかん問題である。協議会は出来上がっているが、コロナによって中断している。避難誘導、車による避難にどう対処するかは結論が出てない状況で、この点は早く取り組んでいきたい。

### 問

実際妙見山まで歩いたルートに、どのように避難したらよいかという道しるべが1本もなかった。道しるべがあれば、それが避難誘導につながる方策と思うがどう考えるか。

### 楠瀬市長

**答** 当然道しるべも必要であり、例えば量販店の中に概略図を示す、チラシを配る、そういう活動、対策協議会を活性化させていく必要がある。

市内各避難場所備蓄品の品名、避難者への備蓄割合はどうなっているか。

### 楠瀬市長

### 答

備蓄物資支給対象者を17,000人と想定し、食料、水は令和7年度中に目標達成見込みとなっている。衛生用品、生活用品、資機材は必要な総定数に対し不足している。充足率は乳幼児紙おむつ41%、毛布17.6%、マット1.9%となっている。

### 問

市内における避難所の数はまだまだ不足していると考えます。今後の新たな避難所の整備はどのように考えるか。

### 楠瀬市長

### 答

南海トラフ地震の発生時には、市内で10,280人程度の避難者数を想定、現在指定の避難所、福祉避難所収容人数は6,888人で、その差3,392人については高幡5市町で策定した高幡圏域広域避難計画の4,283人の収容枠での対応を考えている。

### 問

NHKの巨大地震シミュレーションという番組で須崎市も助言している高知大学大槻教授が黒潮町の避難タワーについて、想定外が起きかねない避難、それでもここが命を守る砦となると指摘していたが、高齢者、避難弱者、逃げ遅れた人にとって黒潮町同様に命を守る砦となるのではないか。今回市長から市長にはつきり陳情に対する答え

を言っしてほしいとの訴えがあった。浸水しない場所にいる身内を頼り須崎を離れる、諦めてこのまま、すでに起きているが、津波の心配のない他市町に家を建てるなど、岐路に立ち覚悟を決めないといけない時期にきている。市長から直接市民に陳情に対する答弁をしていただきたい。市長にお尋ねする。高齢者、避難困難者や逃げ遅れ対策の避難施設建設の考えがあるのか、ないのか。

### 楠瀬市長

### 答

まだ結論を出す時期ではない。周りの自主防災組織等共助分を立て直さないと防災につながないと強く考える。自主防災組織の活動はほぼできていない。これは避難タワーより危機的な話だと考える。避難タワーを造って安心してしまうと余計思考が止まる。東日本大震災の時、前も言ったが宮城県宮古市田老町でもうすこい設備を造り皆さんが安心してそこで活動も全部停止し、大変な惨事になった。もう一度住民のつながりをしっかりすることがまず大切である。

### その他

米価高騰について、農業人口の減少について、食料自給率上昇について、高知県アンテナショップとさくら書店について



# 一般質問

3月12日(水)



## フリーブラッツ社との訴訟問題について

**問** 1点目になぜこのような問題になったのか、2点目に控訴審での勝算はあるのか、3点目に今までの訴訟において掛かった費用は幾らぐらいか聞く。

### 楠瀬市長

**答** 2点目について、勝算があるのかとの問いについては、控訴であるので勝算がないとは思っていない。

### 山岡元気創造課長

**答** 1点目のこれまでの経過としては、平成29年(株)フリーブラッツ社

よりコツメカワソウ「ちいたん☆」を本市の観光大使にして欲しいと依頼され、ツイッターのフォロワー数が数10万人を超えていることから本市をPRできるとのメリットを説明され話を進めた。その後、しんじょう君のデザイナー紹介を依頼されデザイナーを紹介。「ちいたん☆」のイラストが完成した段階で示されたが、あまりにもしんじょう君に似すぎていたため変更を依頼したが、変更されることはなかった。

同年11月着ぐるみ作成にあたり関係各所から、デザインがしんじょう君の色違いだが許可が取れている保証が欲しいと打診され、本市は本家であるしんじょう君やPRのため、多少の活動程度であればしんじょう君そのものを作成するものではないことから、時間的制約を鑑みて、特に許可等の手続きは必要ない旨の回答をした。

平成30年、正式に須崎市観光大使に委嘱。その後2月から6月にかけて「ちいたん☆」の過激動画が炎上し、本市に大量のクレームが寄せられるようになり、観光大使に任命しているため鎮静化に協力、バックアップをしてきたが、本市のPRと無関係な営利活動に邁進するようになったことやツイッターのフォロワー水増し、無断でイラストに係る国内商標登録を行ったことなど信頼関係が維持できなくなり、観光大使解任と活動停止を平成31年1月に求め、2月に定例記者会見において問題点を指摘し、東京地方裁判所に標章と着ぐるみの使用禁止を求める仮処分命令申立てを行った。

それに対し、令和元年9月、キャラクター「ちいたん☆」の標章と着ぐるみの

使用について、本市の黙示の許諾が認められるとして仮処分が却下、10月に即時抗告を行ったが、12月に即時抗告が棄却された。その後、令和3年7月に損害を被ったとして、約4,324万円の損害賠償請求を起こされた。令和5年3月、これに対し、使用差し止めと損害賠償を求め反訴を行ったが、本年2月7日、損害賠償請求事件及び使用差し等反訴請求事件の第一審判決が東京地方裁判所で言い渡され、損害賠償請求については約786万円の支払い、反訴提起については棄却された。以上がこれまでの経過となっている。

なお、3点目のこれまでの費用については、法律事務所への委託料支払等約683万円、裁判傍聴等に係る職員の出張旅費など約94万円の支出となっている。

## 住友大阪セメント高知工場の休転と市内宿泊施設について

**問** 今秋開業予定のAZホテル進出は喜ばしいことである。一方で今まで市内の宿泊施設に休転の度に短期長期にわたり宿泊いただいた業者が、AZホテルに移るのではないかと宿泊施設関係者の方々が心配されている。本市が誘致されていないなら住友大阪セメント高知工場を通じ、今までどおり市内の宿泊施設の使用をお願いしたい旨、伝えて欲しい。民間のことと放っておけない事案だと考える。市長の所見を聞く。

### 楠瀬市長

**答** 基本的には市民の話だが、どこまでお願いできるかということ。既存の宿泊事業者の方々も頑張っておられるので、休転時、他の市町で宿泊されていた方々を本市に是非とお願いはできるかもしれない。その辺りも宿泊事業者の方々とも話しながら、既存の対応をしていきたい。

## 公園管理と整備について

**問** 本市の公園の施設管理者は建設課を中心に行われている。市民の憩いの場所ともなっている市内各地の公園において、椅子が壊れたり、ささくれたりして残念に思うこと多々ある。川端シンボルロードは海のみちプロジェクトに呼応してイベント会場にもなっているのに非常に残念な状態だ。公園管理と整備について管理者である建設課の考え方を聞く。

### 楠瀬建設課長

**答** 市街地にある27カ所の都市公園園が6割を占めており、老朽化や経年劣化により更新が必要とされている施設がある。長寿命化計画に基づき財政状況に応じて更新を進めていく。また川端シンボルロードの椅子については令和7年度の予算に計上しており、こちらで対応していく。

## その他

高台整備について、健康寿命延伸施設誘致について



杉山 愛子 議員

### 介護の安心について

**問** 介護保険は介護度の認定によって受けられるサービスや給付限度額が異なるが、家族が介護を担いサービスをあまり利用していない場合、区分変更等の必要性が認識されにくいケースがあるのではないか。家族の急な入院などの際にも、必要なサービスを安心して受けられるよう、状態が変化した際の区分変更の周知強化について、見解を聞く。

**答** 要介護認定をお持ちの方および家族には、心身の状態が変化したときには速やかに変更申請を行い、状態に応じた適正な介護サービスをお使いいただくようお願いしてきた。引き続き関係機関に周知し、協力をしながら、必要な支援を行っていききたい。

### 大崎長寿介護課長

**答** 要介護認定をお持ちの方および家族には、心身の状態が変化したときには速やかに変更申請を行い、状態に応じた適正な介護サービスをお使いいただくようお願いしてきた。引き続き関係機関に周知し、協力をしながら、必要な支援を行っていききたい。



### 統合スクールバス

**問** 上分地区からのスクールバスの運行ルート案はバイパス経由となっており、液状化の可能性が大きい区域を多く通る。リスクについて認識を聞く。

**答** また、バイパスを通らないよう朝ヶ丘中学校入口の拡幅などができないか。

### 竹内教育長

**答** 災害の多いわが国では、発災時、通学路にリスクはあり得るものと認識している。朝ヶ丘中学校入り口の拡幅には課題があり、朝ヶ丘中学校側の道路沿いに乗降場所を整備することは困難である。

**問** 運行計画は登下校の生徒の安全のために必要整備を行うまで統合を延期するべきではないか。

**答** 統合を延期するような懸念等は全く考えておらず、中学校の統合については、令和8年4月から変更する予定はない。

### 楠瀬市長

**答** 統合を延期するような懸念等は全く考えておらず、中学校の統合については、令和8年4月から変更する予定はない。

### 学校給食無償化

**問** 学校給食無償化を実施している自治体は、県内は14市町村、41%である。国は、令和8年度から小学校給食費の無償化を検討している。自治体間に格差が生じていることは問題であるか。

**答** 学校給食無償化を実施している自治体は、県内は14市町村、41%である。国は、令和8年度から小学校給食費の無償化を検討している。自治体間に格差が生じていることは問題であるか。

り、国に財源措置の必要性を迫る意味でも、須崎市も無償化に踏み切るべきではないか、見解を聞く。

### 竹内教育長

**答** 具体的にとどのような対応を行うか、た上で令和8年度を迎える必要があるのか、国の検討状況を注視していきたい。

### 就学援助制度の電子申請

**問** 就学援助制度の申請について、申請書記入の作業量負担や、申請理由を記入する際の心理的負担、教職員の業務負担を軽減するため、電子申請を導入してはどうか。また理由の記入は不要にしてはどうか。

**答** 提出された申請書に基づき審査を行っているため、申請理由等の記載の省略は考えていないが、電子申請の導入や申請書を世帯で1枚にするなど、申請手続の簡素化については、保護者の負担軽減等の観点から今後の検討課題であると考えている。

### 中西学校教育課長

**答** 提出された申請書に基づき審査を行っているため、申請理由等の記載の省略は考えていないが、電子申請の導入や申請書を世帯で1枚にするなど、申請手続の簡素化については、保護者の負担軽減等の観点から今後の検討課題であると考えている。

### 土曜保育について

**問** 土曜1日集合保育による子育て環境の進展を評価しているが、中には送迎や荷物の負担が重くなり、地元での保育を希望するというご意見もある。通園バスの運行や布団のレンタルサービスなど検討できないか。どんな支援を望むか聞き取りをしてはどうか。

**答** 環境の進展を評価しているが、中には送迎や荷物の負担が重くなり、地元での保育を希望するというご意見もある。通園バスの運行や布団のレンタルサービスなど検討できないか。どんな支援を望むか聞き取りをしてはどうか。

### 市川子ども・子育て支援課長

**答** 統合により通園バスを運行している園については、おひさま保育園までの区間延長をしている。有料のサービスは保護者負担となるため検討はしていない。土曜1日保育についての保護者のご意見は、各保育園でアンケートが実施されており、保育現場と連携をして、利用者からのご意見を集約し、質の向上に努めていきたい。

### 新荘地区からの通園バス

**問** 新荘地区から上分保育園への通園のため通園バスが運行されていたが、数年前に利用が一世帯となり、意向を確認したうえで運行が休止されているが、毎年、在園児と入園を予定しているご家庭に対し、次年度の利用希望を聞くべきではないか。希望があった場合、通園バスの運行はできるのか。

**答** 運行の再開は、ご要望が上がった際には検討するとの約束がされている。これまでご要望はいただいていないが、休止から年数が経過しており、上分保育園に通う新荘地区の保護者の皆さんからお話をお伺いする機会を設ける予定である。

### 市川子ども・子育て支援課長

**答** 運行の再開は、ご要望が上がった際には検討するとの約束がされている。これまでご要望はいただいていないが、休止から年数が経過しており、上分保育園に通う新荘地区の保護者の皆さんからお話をお伺いする機会を設ける予定である。

### その他

ファミサポ会員の交流会実施や利用料の補助について



たかはし りゅういち  
**高橋 立一**  
議員

### 須崎市総合計画と市職員 の人員確保についての 来年度の人員費措置に ついて

**問** 現行の須崎市総合計画は、令和6年度で終了し、新たな計画の下、須崎市政の発展に向けた政策等が展開されることを期待する。人口減少対策は喫緊の課題である。今後の人口減少対策について、市長の考えを聞く。

### 楠瀬市長

**答** 新たな須崎市総合計画案において、本市の将来の目指すべき姿としての人口ビジョンをお示しをしているが、国立社会保障・人口問題研究所(社人研)の推計によると、本市の人口減少は避けられない状況となっている。本市としても減少幅を少しでも小さくするために取り組むこととしており、若い世代の人口流出を抑制する、そして出生率向上

を妨げる要因を取り除いていく、この2つを基本方針として定めて、対策を行っている。具体的には、県が新たに設けた人口減少対策総合交付金を活用した女性活躍促進事業や、子育て世帯新築住宅取得支援事業などに新たに組み込むこととしているほか、移住促進等の既存の取り組みについても、事業の拡充や磨き上げにより取り組みの強化を行っている。

### 問

質の高い公共サービスの提供には、職員の力が必要である。しかしながら、全国的にも公務員人気が下がり、採用試験応募者数は以前から比べると減少している。人口が減れば職員数も応じて減らしていくという考え方もあるかもしれないが、人口増に向けた政策等を行っていく上では、継続して優秀な人材を確保・育成する必要がある。公務員の定年が段階的に延長されている中ではあるが、人口が減少している中で、職員の人材確保の今後の展望について聞く。

### 楠瀬市長

**答** 質の高い公共サービスの提供のためには、継続して優秀な人材を確保・育成する必要があると認識している。また、人口が減少していく中、民間やほかの公務職場との採用競争が激しくなってきたおり、職員の人材確保については年々厳しさを増している状況となっている。本市としても採用試験について、受験可能年齢の拡大や試験区分や試験方法の見直し、また試験日程の変更など、様々な

工夫を行ってきた。今後においても、引き続き採用試験の国籍条項の緩和に向けた検討や外部人材の活用も含め、幅広く人材の確保に努めてまいりたい。

### 問

官民間問わず、人材確保の課題が社会問題化している中で、賃上げは喚起力のあるものである。それは人材を集めるということだけでなく、職員のモチベーションを維持すること、ネガティブな理由での離職を防ぐことにもつながるのではないかと。改めて市長の見解を伺う。

### 楠瀬市長

**答** 地方財政計画において、令和7年度も引き続き給与の増額改定が想定されており、これまでと同様に人事院勧告に準じ、給与改定を行うよう検討してまいりたい。人材確保が難しくなっていく中で、長く働き続けるため、給与面だけではなく、様々な要因があると認識している。職員に長く勤めてもらうために、また須崎市役所で働きたいと思っていただける職場づくりに努めていきたい。

### 女性活躍推進事業について

### 問

令和7年度当初予算に、女性活躍推進事業費が元氣創造課所管で計上されている。令和7年度は事務所を構えて、委託事業として女性が住みやすい働きやすいまちづくりをめざした政策をしていくとのことである。内容について聞く。

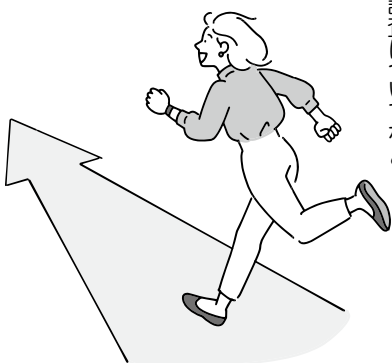
### 山岡元氣創造課長

### 答

3月5日に本市と一般社団法人日本シングルマザー支援協会と女性の活躍に関する連携協定を締結した。事業の内容としては、市内事業所向けに女性の働きやすい職場研修、企業誘致、職業紹介業務、女性が気軽に相談できる窓口の開設、婚活、交流支援事業として移住希望者等に対する移住相談や就労支援等と併せて、出会いのきっかけづくりや地域での交流の支援を行い、またNPO法人暮らしやすさとの連携を図り、既存の移住促進の取り組みに加え、ウェブサイトの強化や移住相談会等で新たに女性にターゲットを絞って本市のプロモーションを行う広報活動などを行うことを考えており、定期的なアンケート調査、地元企業への定例ヒアリングを実施することによって成果を検証しながら取り組みを進めてまいりたい。事務所については、正式に決まってから広報等で報告させていただく。

### その他

国勢調査についてなど



下記のとおり  
管内視察を行いました。



令和6年度

## 各常任委員会管内視察

### 2/13(木) 総務文教委員会

#### 須崎小学校



校長先生から Make“IT”Fun による須崎小学校での授業の取り組みについて説明を受け、その後、教室に移動し、教師からの課題に対し、グループ単位で自分たちでタブレット等を使い学びを深める授業を参観しました。

#### 多ノ郷小学校体育館



体育館への空調設備設置における事業費や設置数、電気代、今後の小・中学校への設置予定等について担当課より説明を受けました。

### 2/21(金) 産業厚生委員会

#### 東川内第1市営住宅跡地



更地となった跡地を見学。造成後の宅地面積や総戸数、1戸あたりの坪数、現在の高台整備事業の進捗状況等について担当課より説明を受けました。

#### 多ノ郷市営住宅



部屋数や家賃、現在の入居状況等について担当課より説明を受けました。



1月	
3日(金)	第77回須崎市成人式
5日(日)	須崎消防団出初式
6日(月)	令和7年新春賀詞交換会
8日(水)	縁日広場点灯式
10日(金)	第487回須崎市議会1月臨時会 議員協議会
18日(土)	第41回須崎市社会福祉大会
26日(日)	須崎魚市場落成式

2月	
5日(水)	吉野川市議会 行政視察
7日(金)	全国高速自動車道市議会協議会 第51回定期総会(東京都)
13日(木)	総務文教委員会 管内視察
17日(月)	全国市議会議長会 第182回産業経済委員会(東京都)
19日(水)	香美市議会 行政視察
20日(木)	議員協議会
21日(金)	産業厚生委員会 管内視察
26日(水)	第488回須崎市議会3月定例会告示日
28日(金)	高陵特別養護老人ホーム組合 議会定例会
	高幡障害者支援施設組合議会定例会
	高幡広域市町村圏事務組合議会 2月定例会
	高幡消防組合議会定例会

3月	
3日(月)	議会運営委員会
	議員協議会
5日(水)	第488回須崎市議会3月定例会開会日
14日(金)	総務文教委員会
17日(月)	産業厚生委員会
19日(水)	第488回須崎市議会3月定例会閉会日
	議員協議会
20日(木)~ 23日(日)	しんじょう君海外プロモーション議員同行視察(中国上海)
26日(水)	高幡東部清掃組合 3月定例会(中土佐町)

## 杉山議員の処分について (報告)

令和7年2月の総務文教委員会活動において、杉山愛子議員の肖像権にかかる不適切な取扱いの事実が確認されました。

内容は、人格権としての肖像権の侵害で、このことは執行部及び市民の皆様への信頼を大きく損ねるものであり、議会を代表して皆様に謹んでお詫び申し上げます。

処分としては、本人からの顛末書提出を求めたうえ、議長、副議長からの厳重注意処分としましたので、ご報告するとともに、議員一同再発防止に努めてまいります。

令和7年4月10日  
須崎市議会議長 土居 信一

## 編集後記

新年度を迎えて1か月、新しい生活、環境に馴染んでくれたことと思います。しかし、そうしたときにふと気が緩むことも多いものです。お互い緊張と緩和をもって生活していきたいものです。

先日、久しぶりに日曜市に行ってみました。事前に出店者の方にお聞きしていたとおり、出店数も買い物客も少しさびしい状況でした。午前7時頃から半時間ほどお邪魔していましたが、出店数は7店、買い物客も店数より少し多いくらい。

賑わいには程遠いもので、お話をうかがった出店者の方からは、厳しい言葉が多く聞かれました。

しかし、特に市街の皆さんにとっては、買い物の不便を少しでも軽減できるものではないかと思えますし、会話を交わしながらの買い物は楽しいものです。

今後、賑わいを取り戻すための方策を考えていくべき課題であると思います。皆さんも日曜市(木曜日も含め)に出向いてみませんか。

(高橋 立一)

## 編集委員会

委員長	森光 一晴
副委員長	森田 收三
委員	海地 雅弘
委員	高橋 立一

## 会議録がご覧いただけます

本紙に掲載された質問や答弁等の内容を詳しくお知りになりたい方は、会議録(5月下旬発行予定)をご覧ください。なお、会議録は議会事務局のほか、図書館、各公民館に備えてあります。

- 須崎市ホームページにも掲載しています。

<https://www.city.susaki.lg.jp/>



- 議会開会日は、よさこいケーブルネットで生中継や録画放送も行われています。

<https://yosakoi-tv.net/>

